

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	消防本部	総務課	内線等	99 - 203
----	------	-----	-----	----------

事業コード		事務事業名	福利厚生事業				
根拠法令等	消防組織法		A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	消防・救急
------------------	-------

事務事業の内容

対象	消防職員の安全及び健康を
手段	保持・確保することによって
想定する成果	任務に対する使命と責任を自覚し、安全の確保と士気高揚を図る。

事業の概要

(千円)

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
被服貸与品	4,678	3,870	5,363
訓練従事者健康診断料	2.3	2.3	3.3
B型肝炎ワクチン接種料	74.7	149.4	152.3
潜水器具点検料	23.1	46.9	46.0
C型肝炎、結核検査料			82.6
職員数	107人	107人	105人

成果指標

成果指標名	一人当たり被服貸与品費	一人当たり福利厚生費
成果指標の説明	被服貸与品費 / 職員数	福利厚生費 / 職員数

事業の進捗状況 ( 一般会計 )

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			51.1
	実績	43.8	36.2	
成果指標	計画			102.0
	実績	91.6	84.4	
事業費	事業費	4,778	4,069	5,647
	人件費	5,015	4,958	5,054
	(人数)	0.6人	0.6人	0.6人
	合計	9,793	9,027	10,701
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	9,793	9,027	10,701

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	2	2	計画に基づき執行されている。
経済効率性	2	2	被服貸与品について、点数制度を導入した貸与ができる制度としたい。
事務効率性	2	2	被服貸与品について、データを電算で把握するようにした。
必要性	2	3	職員の健康管理と士気高揚を図るため、必要不可欠である。
小計	8 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度			
合計	8 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	計画に基づき実施されている
------	---	---	---------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

計画に基づき被服貸与を実施した。

今後改善すべき点

被服貸与品の点数制度を採用して必要度に応じて貸与することとし、さらにC型肝炎、結核検査を実施する予定。

平成16年度予算に反映する項目

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

# 平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	消防本部	総務課	内線等	99 - 203
----	------	-----	-----	----------

事業コード		事務事業名	教養研修事業				
根拠法令等	消防組織法		A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	消防・救急
------------------	-------

事務事業の内容

対象	消防職員に対して
手段	専門的な資格や技術・知識を修得させ
想定する成果	資質の高い職員を育成し、市民の付託に答えるべく、体制の強化、能力の向上を図る。

事業の概要

(千円)

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
県消防学校入校(初任科・救急科他専門科程) 救急救命士研修、小型クレーン運転講習、潜水土講習、等他専門的な講習、免許取得			
研修者数	30人	26人	30人
職員数	107人	107人	105人

成果指標

成果指標名	一人当たり教養研修費	研修・講習等受講率
成果指標の説明	教養研修費 / 研修者数	研修・講習者数 / 職員数 × 100

事業の進捗状況 ( 一般会計 )

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			114.0
	実績	110.1	99.3	
成果指標	計画			28.6%
	実績	28.0%	24.3%	
事業費	事業費	6,666	5,666	6,912
	人件費	5,015	4,958	5,054
	(人数)	0.6人	0.6人	0.6人
	合計	11,681	10,624	11,966
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	11,681	10,624	11,966

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	年間の計画に基づき教育派遣を実施している。
経済効率性	2	2	限られた予算の中で、できるだけ派遣研修を実施した。
事務効率性	2	2	年間の計画に基づき教育派遣を実施している。
必要性	2	2	専門的な研修であり必須の事業である。
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度			
合計	8 / 15 満点中	8 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	事業の計画・内容について十分な調査が必要なこと、消防救急活動に必要不可欠なものであり、より高度な資質と対応力を向上することを図る。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

年間の計画に基づき教育派遣を実施している。

今後改善すべき点

消防学校等研修受け入れ等に対して、強く研修受け入れの要望をしていく。

平成16年度予算に反映する項目

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

# 平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	消防本部	総務課	内線等	99 - 203
----	------	-----	-----	----------

事業コード		事務事業名	消防庁舎管理事業				
根拠法令等	労働安全衛生法		(A) 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	消防・救急
------------------	-------

事務事業の内容

対象	消防庁舎を
手段	保守点検、維持管理して
想定する成果	適正な庁舎管理を行い、消防・救急の円滑な活動と環境づくりを図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
消防本部・署	庁舎RC3階建・訓練塔(望楼)、車庫鉄骨造含む	延 1 1 6 3 . 5 9 m <sup>2</sup>	S.50.11.1建築
東部出張所	庁舎RC一部3階建、車庫一部鉄骨造含む	延 4 3 9 . 4 7 m <sup>2</sup>	S.44.5.15建築
西部出張所	庁舎RC一部3階建、車庫一部鉄骨造含む	延 3 0 4 . 6 0 m <sup>2</sup>	S.41.12.20建築
維持管理費(千円)	14,838	14,901	14,883

成果指標

成果指標名	1日平均維持管理費	1日平均需用費
成果指標の説明	事業費 / 年間日数	需用費 / 年間日数

事業の進捗状況 ( 一般会計 )

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			40.8
	実績	40.7	40.9	
成果指標	計画			17.0
	実績	18.1	18.4	
事業費	事業費	10,659	10,769	10,672
	人件費	4,179	4,132	4,211
	(人数)	0 . 5 人	0 . 5 人	0 . 5 人
	合計	14,838	14,901	14,883
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	14,838	14,901	14,883

### 事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	省エネ活動を数年前から実施しているが、効果が十分上がっていない。
経済効率性	2	2	緊急出動に対応するため冬期の暖房等経費がかさむ。
事務効率性	2	2	省エネ等まめな消灯、水栓の調整により経費削減を図っている。
必要性	2	2	施設・設備の適正管理が必要である。
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	-	-	
合計	8 / 15 満点中	8 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	24時間緊急出動に対応することによるコストやリスクがあるものの、省エネに努力している。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

#### これまでに実施した改善点

まめな消灯、節水を実施した。

#### 今後改善すべき点

更なる省エネ、省資源化を図りかつ、来庁者及び庁内で業務を行うものの安全かつ迅速な対応と市民が利用し易い環境づくりを進める。

#### 平成16年度予算に反映する項目

耐震補強に関連した経費を計上予定である。

#### 組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

# 平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	消防本部	総務課	内線等	99-202
----	------	-----	-----	--------

事業コード	事務事業名	消防団訓練指導事業		
根拠法令等	蒲都市消防団規則	A 法令	B 条例	C 規則
		D その他	E なし	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	消防・救急
------------------	-------

事務事業の内容

対象	消防団員に
手段	訓練をの指導することによって
想定する成果	統制ある消防団活動及び団員の資質の向上を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
訓練及び事業数	11回	11回	11回
参加人員数	2,055人	2,122人	2,256人
参加可能人数	2,783人	3,439人	3,472人

成果指標

成果指標名	訓練及び事業への参加率	訓練及び事業への平均参加人数
成果指標の説明	延参加人数 / 参加可能人数 × 100	延参加人数 / 訓練及び事業数

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			65.0%
	実績	54.3%	61.7%	
成果指標	計画			65.0%
	実績	186.8人	192.9人	
事業費	事業費	3,201	3,253	3,871
	人件費	14,209	11,568	9,740
	(人数)	1.7人	1.4人	1.1人
	合計	17,410	14,821	13,611
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	17,410	14,821	13,611

### 事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	訓練回数を増加し団員の資質向上を目指せば団員の負担が増加する相反する問題がある。
経済効率性	2	2	訓練実施に対し交付金で経済的助成をしているがそれに見合った参加者が得られない。
事務効率性	1	2	消防係4人で全団員の指導には困難な面もあるので、事務配分の見直し、又は各課の協力が必要である。
必要性	3	3	大規模地震発生が叫ばれるなか、地域住民の消防団に対する期待は非常に大きく、積極的な指導が必要である。
小計	8 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度			
合計	8 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

#### これまでに実施した改善点

二つの訓練を同一日に実施し、訓練日数を減少した。
--------------------------

#### 今後改善すべき点

消防団員の負担軽減を図るため公務、諸行事について簡素化等の見直しを検討する。 サラリーマン団員が多くなっているため企業に対し消防団活動に理解を求める必要がある。
---

#### 平成16年度予算に反映する項目

消防団員の活動はボランティア要素が大きく、予算を縮減するのは困難であるが、前年並みの予算の中で必要な資機材整備に努めたい。
---

#### 組織、人員に関する提言

消防団に関する指導事務を他の課に分散する。そのことにより消防職員と消防団員の関係を密にして現場活動での協力体制を高める必要がある。
---

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載